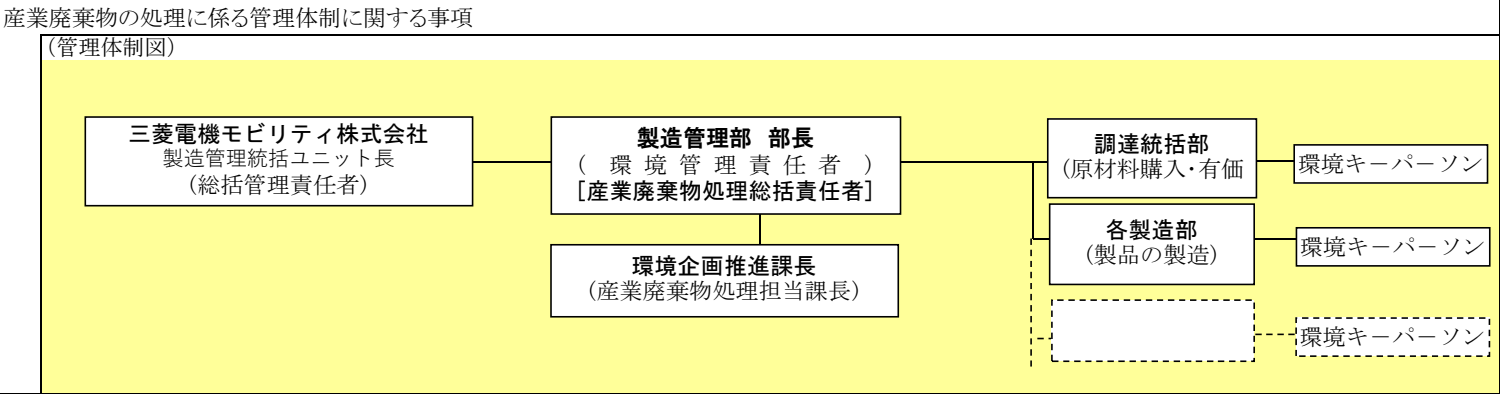


産業廃棄物処理計画書	
2026 年 6 月 29 日	
(あて先) 姫路市長	
提出者 住 所 姫路市千代田町840番地	
氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 三菱電機モビリティ株式会社 製造管理統括ユニット ユニット長 齋藤 博志	
電話番号 079-298-7031	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	三菱電機モビリティ株式会社 広畑工場
事 業 場 の 所 在 地	姫路市広畑区富士町1番40
計 画 期 間	2026年4月1日から2027年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	その他の産業用電気機械器具製造業(2929)
② 事 業 の 規 模	— (姫路事業所全体での2025年度実績 4,130億円)
③ 従 業 員 数	2,142人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度(2025年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	723 t	621 t	224 t	73 t	2.6 t
	(これまでに実施した取組)					
	①. 広畑工場の軟質系廃プラスチックの分別強化 ②. 廃油(洗浄液)の排出抑制(発生部門と協議) ③. 汚泥の排出抑制(発生部門と協議) ④. 木くずの有価物化検討					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	725 t	623 t	225 t	73 t	12.3 t
	(今後実施する予定の取組)					
	①. 広畑工場の軟質系廃プラスチックの分別強化 ②. 廃油(洗浄液)の排出抑制(発生部門と協議) ③. 汚泥の排出抑制(発生部門と協議) ④. 木くずの有価物化検討 ⑤. サーキュラーエコノミーを踏まえ、廃プラスチック類(プラスチックトレイ)の資源循環を推進					

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <分別している産業廃棄物の種類> 汚泥、廃油、廃プラスチック類(雑芥廃プラスチック類, 混合廃プラスチック類)、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(ガラスくず、蛍光灯、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の混合物)、金属くず <分別に関する取組> 発生する廃棄物の分別を写真で見える化し、それぞれの廃棄物をアルファベットや数値で別名を付与し、廃棄場所にもこのアルファベットや数値を掲示することで分別と誤廃棄防止を徹底した改善を維持継続。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <分別予定> 上記 ①現状 に示す<分別している産業廃棄物の種類>からの変更予定なし。 <分別に関する取組> ・上記(現状)の取組を継続実施する。 ・サーキュラーエコノミーを踏まえ、廃プラスチック類(プラスチックトレイ)の資源循環を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(2025年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の再生利用は実施していない。					
②計画	【目 標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の再生利用を実施する計画はない。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(2025年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の中間処理は実施していない。					
②計画	【目 標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の中間処理を実施する計画はない。					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
	産業廃棄物の埋立処分 又は 海洋投入処分は実施していない。					
②計画	【目 標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)					
	産業廃棄物の埋立処分 又は 海洋投入処分を実施する計画はない。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	723 t	621 t	224 t	73 t	2.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	723 t	621 t	224 t	73 t	2.6 t
	再生利用業者への処理委託量	723 t	621 t	207 t	73 t	2.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
	①. 全ての収集運搬・中間処理業者の現地確認を実施。 更に、代表的な最終処分業者の現地確認も実施。					
	②. 優良認定業者(収集運搬業者、中間処理業者)との処理委託契約率100%を達成。					
	③. 定常的に排出される産業廃棄物に関して有効利用率(マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル)100%を達成。					

②計画	【目 標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油		廃プラスチック類		木くず		ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	
	全処理委託量	725	t	623	t	225	t	73	t	12.3	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	725	t	623	t	225	t	73	t	12.3	t
	再生利用業者への 処理委託量	725	t	623	t	225	t	73	t	12.3	t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	0	t	0	t	0	t	0	t	0	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	0	t	0	t	0	t	0	t	0	t
	(今後実施する予定の取組)										
	①. これまでに実施した取組を継続実施する。										
	②. サーキュラーエコノミーを踏まえ、廃樹脂パレットの循環使用を推進する。										
③. サーキュラーエコノミーを踏まえ、廃プラスチック類(プラスチックトレイ)の資源循環を推進する。											
※事務処理欄											

産業廃棄物の一連の処理の工程

主な発生源	産業廃棄物の種類		処理工程	
金属被膜処理工程	汚泥	処理カス	混合・焼却	セメント原料化
各種製造工程	汚泥	フィルター、砥石等	混合・焼却	セメント原料化
	汚泥	シリコン、エポキシ等	焼却	造粒固化
排水処理工程	汚泥	脱水汚泥	脱水、混練・乾燥、油水分離	エマルジョン燃料化
				セメント原料化
各種製造工程	汚泥	フィルター、砥石等	混合・焼却	セメント原料化
	廃油	油混じりの廃液	油水分離・混合・焼却	セメント原料化
	廃油	切削・研磨油水等	油水分離	エマルジョン燃料化
				セメント原料化
	廃油	研磨油水等	混合	補助燃料化
各種製造工程・物流	廃プラスチック類	雑沓プラスチック類※1	破碎	焼成・焼却
				セメント原料化
各種製造工程	廃プラスチック類	混合プラスチック類※2	破碎	埋立(安定型)
開発・実験	廃プラスチック類※4	保温材	焼却・熔融	路盤材、鉄鋼製品等の原料化
開発・実験	廃プラスチック類※5	コンクリート片等	破碎	埋立(安定型)
				路盤材化
各種製造工程・物流	木くず	パレット・梱包材等	破碎	セメント原料化
各種製造工程、開発・実験	汚泥※6	乾電池	焼却・熔融	路盤材、鉄鋼製品等の原料化
	金属くず	設備など	焼却・熔融	路盤材、鉄鋼製品等の原料化
事業所全般	ガラスくず※7	ガラスくず	焼却	造粒固化
	ガラスくず※7	蛍光灯・水銀灯	破碎及び水銀回収による再資源化	埋立(管理型)
開発・実験	ガラスくず※8	温度計	焼却・熔融	路盤材、鉄鋼製品等の原料化
				埋立(管理型)

※1:軟質プラスチック系

※2:硬質プラスチック系

※3:廃プラスチック類と金属くずの混合物

※4:廃プラスチック類と石綿の混合物(石綿含有産業廃棄物)

※5:廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず及びがれき類の混合物

※6:金属くずと汚泥の混合物

※7:ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

※8:金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類の混合物

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
実績：前年度（2023年度）実績量
目標：今年度（2024年度）目標量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
汚泥	723	725. 11495	0	0	0	0	0	0	0	0	723	725. 11495	723	725. 11495	723	725	0	0	0	0
廃油	621	622. 9622	0	0	0	0	0	0	0	0	621	622. 9622	621	622. 9622	621	623	0	0	0	0
廃プラスチック類	224	225. 04917	0	0	0	0	0	0	0	0	224	225. 04917	224	225. 04917	207	225	0	0	0	0
木くず	73	73. 420724	0	0	0	0	0	0	0	0	73	73. 420724	73	73. 420724	73	73	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器く	#REF!	#REF!	0	0	0	0	0	0	0	0	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	0	0	0	0
合計	#REF!	#REF!	0	0	0	0	0	0	0	0	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	0	0	0	0